

野田津太 ワダ 労働運動家。明治二十四年岡山縣兒島郡小串村生れ、
 昭和二十二年三月十六日歿（七八一―一九四）。大正五年大阪で職工組合
 期成同志會を組織して労働運動に入り、友愛會、日本労働總同盟に所属
 した。のち日本労働組合評議會初代中央委員長に選ばれるも、昭和二
 二年三・一五事件（共産黨買収・齊檢挙）で逮捕。出獄後大阪で労働問題
 調査所を設けり。

著書に『評議會闘争史』、『硝煙の中を馳驅して―轉向者・前線官軍
 顧問報告』（門屋博・細谷兼光等共著、昭和十二年二月）、『全日本
 司法保護事業連盟』、『司法保護叢書』等。

